

2 『法華経』から学ぶ仏教入門

【全6回】／開催方法：ハイブリッド

やまぐちひろえ
山口弘江

駒澤大学仏教学部
准教授



受講料 会員料金：¥13,000 早割価格：¥12,000(納入期限：4月16日)

【日程】【全6回】 1回／月 土曜日
(4/20、5/25、6/15、7/20、8/10、9/21)

【時間】13：20～14：50

■受講に必要なもの

[テキスト] レジュメ配布

鳩摩羅什訳『妙法蓮華経』（以下『法華経』）8巻は、東アジア、とくに日本の仏教界にもっとも大きな影響を与えた経典の一つです。「諸経の王」だと自称する『法華経』には、大乘仏教のエッセンスともいえるべき重要な教えが随所に説かれています。そのため、歴史の中で多くの祖師によって学ばれ教えられ続け、今日もお信仰が社会に根付いているのでしょう。

本講座では、『法華経』28章のなかでも伝統的にもっとも重要だとされる4つの章（四要品：方便品第二・安樂行品第十四・如来寿量品第十六・観世音菩薩普門品第二十五）から主要な経文を取り上げ、それぞれの用語にはどのような意味があるのかを基礎から学びます。また講義だけでなく講読も行い、経文を漢文で理解できるようにすることを目指します。

各回は次のような内容を予定しています。

- 第1回 ガイダンス：『法華経』はなぜ「諸経の王」なのか
- 第2回 『法華経』をよむ（1）：一乗と三乗
- 第3回 『法華経』をよむ（2）：悪世の实践、安樂行
- 第4回 『法華経』をよむ（3）：如来のいのち
- 第5回 『法華経』をよむ（4）：観音さまのすくい
- 第6回 まとめ：『法華経』の思想と文化

【参考書】

- ①『法華経』（現代語訳大乘仏典2） 著者：中村元 出版社：東京書籍 出版年：2003
- ②『法華経入門』 著者：菅野博史 出版社：岩波新書 出版年：2001
- ③『法華経』上・下（仏典講座7） 著者：田村芳朗・藤井教公 出版社：大蔵出版 出版年：1988